

市議会だより おおだ



2021(令和3)年1月21日発行



～火山からの贈り物 Vol.7～

伝統芸能 小笠原流田植囃子

(日本遺産認定記念シンポジウム アトラクション)

♡ 12月定例会	2
♡ 10、11月臨時会	4
♡ 一般質問に11人	6
♡ 「大田市議会に対する市民の意識調査」集計結果	14



12月定例議会は、一般会計、特別会計、企業会計の令和2年度補正予算のほか、条例の一部改正、一般案件について慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。

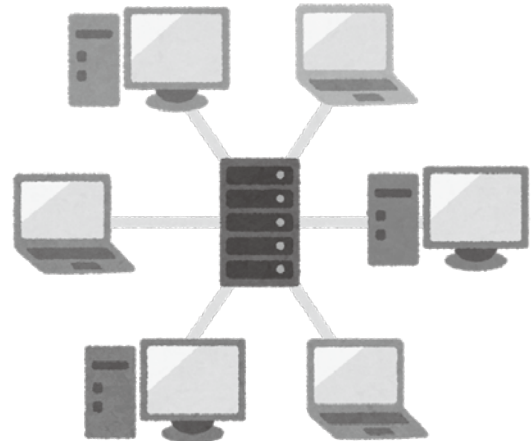


(一般会計総額 320億9,507万円)



大田市民会館

大田市民会館施設改修事業
525万円
 受電設備等の修繕



**新型コロナウイルスワクチン
 接種事業**
636万円

新型コロナウイルスワクチン配付後、速やかに投与が可能となるよう、システムの構築など準備体制を整えるもの

その他の補正	補正額
新規積立金(地方財政法の規定に基づき、令和元年度決算剰余金の2分の1相当を基金に積み立てるもの)	2億円
後期高齢者医療事業特別会計繰出金(後期高齢者医療事務支援システム改修等による繰出金の増)	2,061万円
大田市企業立地奨励金(大田市企業立地奨励条例に基づき認定した企業への助成金)	307万円
産業振興施設等管理事業(道の駅ロード銀山における故障箇所への対応)	137万円

皆さんからの請願・陳情

〔不採択〕

- 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書提出方について

(請願者) 新日本婦人の会大田支部

支部長 清水 信江

〔不採択〕

- 少人数学級制度の拡充を求める意見書提出方について
- 現行少人数学級制度縮小計画の凍結を求める意見書提出方について

(陳情者) ゆきとごいた教育をすすめる島根の会

代表 小松 雪乃

〔継続審査(産業建設委員会付託)〕

- 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書提出方について

(陳情者) 島根県労働組合総連合

議長 村上 上

人事案件

〔17件とも同意〕

農業委員会委員

三谷 薫 静岡町 田原 洋司(久手町)

川上 英之朝山町 戸嶋 総一(水上町)

武田 廣司(大代町) 竹下 正也(富山町)

戸島長四郎(温泉津町) 古志 泰博(久手町)

福田佳代子(大田町) 大谷 成志(三瓶町)

坂根 正(長久町) 奥 雅守(仁摩町)

漆谷 幸男(三瓶町) 落合 政顕(温泉津町)

岩谷 幸子(長久町) 杉本 勝徳(久利町)

森脇公二郎(川合町)

12月定例市議会

令和2年12月4日(金)～
12月18日(金)

一般会計
補正予算

補正額4億6,295万円

主な補正内容



大邑農道の被害(富山町)

現年耕地災害復旧事業
8,500万円

大邑農道等の復旧工事に係る事業費の増額等



ひとり親世帯臨時特別給付金
給付事業
3,167万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得者のひとり親世帯に対する支援として、臨時特別給付金を再支給

指定管理議案一覧表

施設の名称	指定管理者となる団体の名称	指定する期間
大森の町並み関連施設	特定非営利活動法人 石見銀山資料館	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日までの5年間
波根駅集会所	波根駅舎運営協議会	
久手駅集会所	久手駅舎運営協議会	
静間駅集会所	静間駅舎運営協議会	
祖式診療所	社会医療法人 仁寿会	
三瓶ダム周辺施設	野城報徳会	
久手地域農作業準備休養施設	大田市久手町土地改良区	
北三瓶農村ふれあいセンター	大田市三瓶土地改良区北三瓶支部	
大田市堆肥化施設	三瓶開拓堆肥化施設管理組合	
コミュニティよずくの里	コミュニティヨズクの里運営協議会	
石見銀山世界遺産センターサテライト施設納館	鞆の銀蔵株式会社	
町西下農機具格納庫	町西下農業倉庫利用組合	令和3年4月1日～令和7年3月31日までの4年間
大田老人福祉センター	社会福祉法人 大田市社会福祉協議会	令和3年4月1日～令和5年3月31日までの2年間

10、11月臨時市議会

10月30日
開催

令和2年度一般会計補正予算(第7号)
1億8,685万円

可決
賛成多数



立木の剪定を行った龍源寺間歩

観光地受入環境整備事業
5,049万円

樹木の除伐や、遊歩道、案内看板の改修など、観光地としての受入れ環境の整備



代官山動物園

都市公園整備事業
1,161万円

3つの密を避け、市民が野外で快適に過ごせるよう、市民公園・仁摩健康公園等における公園の受入れ環境整備



学校遊具は運動機能向上に効果的

校舎等施設改修事業
366万円

3つの密を避け、児童が野外で快適に活動できるよう、学校遊具の整備

その他の補正	補正額
大田市地域商業等持続化支援事業(感染症の長期化対応のため、事業実施期間の延長)	4,980万円
本会議場等感染防止対策事業(本会議場の座席配置の見直しによる感染症対策が可能となるよう、固定有線マイクを無線マイクに更新)	2,272万円
大田市民会館施設改修事業(公演等における感染防止のため、大ホール客席等への薬剤塗布)	310万円

11月27日
開催

令和2年度一般会計補正予算(第8号)
7,420万円

可決
全会一致

地域医療施設
整備事業

60万円

地域診療所の感染症への対応力を強化するもの



空気清浄機の設置

その他の補正	補正額
国民健康保険診療所事業特別会計繰出金(仁摩・池田診療所の整備に伴う繰出金の増)	2,445万円
保育所ICT化推進事業(保育所等において、保育支援システムの導入やネットワーク環境整備により、新型コロナウイルス感染症への対応力の強化)	631万円

- 10月30日
 - 令和2年10月補正予算(案)の概要
 - 令和2年度 大田市第2期ケーブルテレビエリア光化促進事業
 - 三瓶・大代サブセンターエリア工事
 - 財産の取得(高規格救急自動車)
- 11月27日
 - 令和2年11月補正予算(案)の概要
 - GIGAスクール構想に伴う財産取得
- 12月4日
 - 大田市中期財政見直し(令和2年度現在)及び中期財政運営方針
- 12月18日
 - 消防救急デジタル無線活動波整備工事における談合に対する訴えの提起
- 12月18日
 - 大田市水道ビジョンの策定
 - 投票環境の見直し(巡回による期日前投票所の設置)

全員協議会の議題
議案の審査または議会の運営に関し協議・調整をおこないます

◇12月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対	月森和弘	亀谷優子	根宜和之	和田浩司	三谷健	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	小林洋治	河村賢治	林茂樹	大西修	塩谷裕志	石橋秀利	清水勝	松村信之
■市長提出議案																						
議案第300号 令和2年度大田市一般会計補正予算(第9号)	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第301号 令和2年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第302号 令和2年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第303号 令和2年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第304号 令和2年度大田市生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第305号 令和2年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第306号 令和2年度大田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第307号 令和2年度大田市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第308号 令和2年度大田市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第309号 令和2年度大田市病院事業会計補正予算(第5号)	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第310号 大田市市税外収入金の督促手数料及び延滞金の徴収に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第311号 大田市地域振興を促進するための固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第312号 大田市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第313号 大田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第314号 訴えの提起について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第315号 大森の町並み関連施設の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第316号 波根駅集会所の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第317号 久手駅集会所の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第318号 静間駅集会所の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第319号 祖式診療所の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第320号 大田老人福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	除
議案第321号 三瓶ダム周辺施設の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第322号 町西下農機具格納庫の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第323号 久手地域農作業準備休養施設の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第324号 北三瓶農村ふれあいセンターの指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第325号 大田市堆肥化施設の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第326号 コミュニティよすくの里の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第327号 石見銀山世界遺産センターサテライト施設納館の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第328号 令和2年度大田市一般会計補正予算(第10号)	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第329号 農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意を求めることについて	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第330号～議案第346号 農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■請願・陳情																						
請願第7号 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書提出方について	不採択	6:11	●	○	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○
陳情第3号 少人数学級制度の拡充を求める意見書提出方について	不採択	3:14	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○
陳情第4号 現行少人数学級制度縮小計画の凍結を求める意見書提出方について	不採択	4:13	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○	○
陳情第5号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書提出方について	継続審査		議会閉会中の継続審査(産業建設委員会付託)																			

※定数20名(現員18名)、うち議長(松村信之)は採決に加わりません ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々) ※除は除斥

いっぱん質問



市政に対する一般質問は、12月9日、10日に行われ、11人の議員が執行部の考えをたどりました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は、紙面の都合上、広報広聴委員会で選定し、1人1議題としています。なお、その他の質問項目があった場合は、質問項目のみを掲載しています。(内容は、ホームページ(<http://www.city.ohda.lg.jp/>)で閲覧できます。)

▲12月13日 みんなで遊んで元気アップ! (大田総合体育館)〈大田市体育協会主催〉

答弁 大田市内の都市公園11か所の遊具を40基設置している。これらの遊具は、国土交通省の定める指針により、設置、管理を行っており、年に一度、有資格者による安全点検

質問 大田都市公園等は、市内全域で均衡を図り、容易に利用できるように、また、子どもの遊び場や大人の健康づくりの場として機能發揮できるように定められている。11か所の都市公園・その他公園での遊具の配置、整備状況と、安全確保策等はいかがか。また、遊具等の設置・改修について、国の支援制度の活用や、専門技術者による精密点検はどうか、伺う。

問う

都市公園、市民が安心して利用できるよう整備を

国の指針に基づく設置、管理を行い、引き続き適切な安全管理を行っていく

しみず 清水 まさる 勝 議員



を実施している。その点検結果から、遊具の安全性、老朽度を評価し、「大田都市公園施設長寿命化計画」にもとづき、改修、更新、修繕、廃止を決定している。更新する遊具の選定、配置は、使用する子ども、保護者からの意見も取り入れた、総合的な判断を行うことが重要と考えている。今年度更新する鳴滝公園の複合遊具は、遊具選定委員会を開催し、遊具メーカーによる企画提案のプレゼンテーションを実施、新たな遊具選定を行ったところである。



▲宮崎公園で遊ぶ子ども達

問 防災・減災の 取り組み状況は

正確な情報を速やかに
発信することに努める

ねぎ かずゆき
根宜 和之 議員

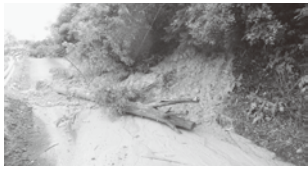


いる。

防災情報に関しては、音声告知放送、防災行政無線、メール配信サービス、SNSなど、今後も市民の皆様が情報収集できるような情報発信していく。また、出前講座の開催や自治会、自主防災組織による防災研修など、日頃から防災について話合いの場を持つよう努める。

災害時要支援者については、名簿を作成し把握しているが、地域の自主防災組織や自治会、民生委員、児童委員、消防団など、関係機関と連携し、取り組む。

避難所において、非常用電源の確保は発電機28機を装備しているほか、災害時における電源についても、可能な範囲で確保に努める。



▲川合町忍原でおきた土砂崩れ

問 大田市地域防災計画は、令和2年度改定予定の島根県地域

防災計画を踏まえ、令和3年度、市の地域防災計画を改定することとして

答 根宜議員その他の質問項目

・令和3年度当初予算編成について

問 歳入確保の ための方策は

様々な手法で、
財源を確保する

こまだひろたか
胡摩田弘孝 議員



6,000万円だったが、令和4年度は2億7,000万円を目指している。

企業版ふるさと納税制度は、企業が寄附をされると、税額控除と損金算入により、企業負担が軽減されるため、「まち・ひと・しごと総合戦略」でも事業全般に寄附が受けられるよう、国の認定を受けている。

寄附の募集では、企業側のメリットを明確に示し、寄附先として選んで頂ける事業や企業への働きかけについて、庁内で横断的な体制を構築し、積極的に取り組んでいく。

クラウドファンディングは、使途を定め、全国から寄附金を募る手法であるが、まずは職員向けに他の先行事例等を参考に説明会を開催する予定としている。

今後も、担当課や担当部署で様々な知恵を出し、財源の確保に努める。

問 胡摩田議員その他の質問項目

・食品衛生法改正による農畜産物加工施設の整備

問

当市は、島根県西部地震や、コロナ感染対策など、想定外の財政負担や、人口減少による地方交付税の減額など、厳しい財政運営に迫られている。

財政健全化には、事務事業の見直しや、経費削減を進めながら、歳入確保の努力が重要であり、手法として、「ふるさと納税」、「企業版ふるさと納税」、「クラウドファンディング」制度などの具体的な実施内容や方向性、財源確保策について伺う。

答

ふるさと寄附は貴重な自主財源であり、手法次第で増額が可能であることから、魅力的な返礼品やPRなど、増額に向けた検討を全庁で進めており、昨年度の寄附額は1億

問う

市の「働き方改革」について “長時間労働の実態は”

時間外勤務の縮減、 業務量の平準化に努める

しおたに ひろし
塩谷 裕志 議員



外勤務の適切な管理と休暇取得の促進について、役割を明確化して取り組んできた。

今後、職員、特に管理職の職場・業務マネジメントの意識改革に努めるとともに、第4次行財政改革推進大綱及び実施計画に基づき、業務のデジタル化、効率化を進めることで今後の時間外勤務の縮減、業務量の平準化につなげていく。また、今後時間外勤務時間の上限を定めるとともに、各部署の状況に応じた職員の適切な配置に努める。

質問 令和元年4月より施行された『働き方改革関連法』は、①長時間労働の是正②正規非正規の不合理な処遇差の解消③多様な働き方の実現の3つの柱で構成されている。先般、県下の自治体の長時間労働の実態が報道されたところであり、本市における関連法への認識、取り組み状況、打開策、並びに市民や議会への情報開示について伺う。

答弁 働き方改革関連法については、長時間労働の是正、多様な柔軟な働き方の実現などのために重要であると認識している。市では、こ

れまで職員の時間外勤務状況を部長級職員で情報共有するとともに、時間



▲各種申請手続きを行っている、市役所1Fフロア

今後の情報開示については、市議会、市民にも正確な情報が伝わるよう、検討する。

塩谷議員その他の質問項目

・公民館体制のあり方

問う

行政手続きに オンライン申請 の推進を

デジタル技術を活用し、 行政サービスの 充実につなげる

いしだ ようじ
石田 洋治 議員



ラインでできるよう、マイナポータルのびったりサービスの運用を開始している。手続によっては、書類の提出時に窓口での内容確認や聞き取りが必要な場合もあるため、今後は対象項目の内容を改めて精査をし、オンライン申請で完結するよう事務の見直しを進めたい。

質問 「デジタル庁」の創設など本格的なDX（デジタルトランスフォーメーション）への転換が進められている。オンラインで完結できる行政手続きは、全国平均でわずか7%程度であり、市民サービスの向上、行政の効率化の観点から、先進的に進めるべきと考えるが、①マイナポータル・ぴったりサービスの活用状況、②今後追加を検討している項目とデジタル化の方針について伺う。

答弁 ①大田市では、平成29年の国

月から児童手当、児童扶養手当、保育、母子保健の4つの子育て関連の15項目の申請手続やサービス検索をオン



▲様々な申請や届出をオンライン上でできるぴったりサービス

石田議員その他の質問項目

・コロナ禍における避難所運営のあり方

問う

大田市においての石州瓦の利用促進について

瓦業界の実情に合った支援策を検討する

かわむら けんじ
河村 賢治 議員



答弁

石州瓦の生産は、ピーク時の12%まで落ち込んでいます。このような状況の中、石州瓦工業会に県と石見3市で支援を行っているほか、県において工務店向け支援制度などの施策が行われている。

質問 石州瓦は、高温で焼くため、硬く、塩害に強く、寒冷地や海岸地域でよく使われている。瓦業界は、高度経済成長の中で増産を続けたが、経済が落ち込み、整理される状況が続いた。

産地である大田市でも、鉄板葺きなど、瓦でない屋根が目立つ。全体が軽量の建物など構造的な理由もある。しかし、洋風なのにうまく瓦が似合っている建物が大田市にもある。瓦の利用促進に知恵を絞り協力していただきたい。

例えば、施主向けパンフレットの作成や、一年間を区切って瓦屋根のコンペを行うなど、利用促進について伺う。

施主や工務店に対し、瓦の良さや魅力を訴え、関心を持ってもらえる取り組みも有効な手段と考える。今後、関係機関、団体等と連携を図る中、積極的な情報発信に努めるとともに、業界の実情に応じた支援策について検討していく。

河村議員その他の質問項目

・未利用の学校施設等の活用



▲様々な使い方や表情がある石州瓦

問う

コロナ感染が急増する中の支援は

中小企業・生活困難者への支援を検討する

おおにし おさむ
大西 修 議員



また、総合支援資金特例貸付けの申請状況は33件であった。特例貸付けの申請者の状況は、30代、40代の親子世帯が多く、ひとり親世帯は少数で、職種別では、製造業が多く、次いで漁業従事者、飲食業の順となっている。

国においては、感染拡大の影響により緊急小口資金などの特例貸付けの受付期間を、令和3年の3月末まで延期し、最長12か月に延長されることとなった。

市としても、コロナの影響を受ける事業者に対し、今後必要に応じてさらなる支援策の検討、並びに実施に向け、市長会等を通じて国に働きかけを行うなど、関係機関と連携した支援を検討する。

大西議員その他の質問項目

・学校司書等による学びのサポート事業の対応

質問

コロナ感染症が急増するなか、年度末にかけて「倒産・廃業」が急増する恐れがある。また、中小企業のリストラ・解雇・雇止めなどの雇用危機が進行している。今、行政に求められているのは、中小企業の経営と雇用、そして暮らしを守るために緊急支援策に取り組むべきである。これまで取り組んできた実態・展望などを伺う。

答弁

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や失業などにより収入が減少した世帯が対象の貸付金や給付金については、緊急小口資金特例貸付け160人。世帯への市独自の特別給付金の申請件数は150人。

問う ケアラーのための支援を

関係機関と連携を図りながら、適切な支援につなげたい

もりやま こうた
森山 幸太 議員



トステイ、ホームヘルプなどのサービスがある。これらの介護や福祉サービスは、要介護者だけでなく、介護を行う方の家庭環境や仕事などに応じて組み合わせる利用することができるところから、介護を行う方々の支援にもつながっていると認識している。

ヤングケアラーは、保護者が何らかの障がいを抱えていたり、認識不足であるなど複数の課題を抱え、自ら支援を求めないため実態が分かりづらいことから、学校やスクールカウンセラーなどの関係機関と情報共有している。

質問

ケアラーとは、ケアの必要な家族や近親者などを無償でケアをする人のことで、障がい者、難病患者の介護・看病・障がい児の療育・ひきこもりなどのお世話をしている人が該当する。ヤングケアラーを含めた全てのケアラーが、介護者としての役割を担いつつ、一生活者としての自分の人生を生きるための支援が必要であると考えるが、所見を伺う。

答弁

ケアラー支援のうち、高齢者支援としては、介護保険制度がある。制度開始から20年以上が経過し、制度の定着とともに、そのサービス利用は飛躍的に増加している。障がい者支援は、高齢者と同様に、シヨ



問う コロナ感染拡大を受け 都会からUIターン者を

受け入れ体制の充実と情報発信の強化に努める

かめたに ゆうこ
亀谷 優子 議員



の改修費助成をしている。就業支援では、UIターン者向けにふるさと島根定住財団の産業体験事業支援に併せ、市でも追加助成している。更に25歳同窓会や、関係機関と連携してSNSなどの情報発信をしている。

新型コロナウイルスの感染拡大が、都会を離れ地方で生活していくことを考えるきっかけにもなっている。UIターン者を受け入れる体制づくりを伺う。また、人口減少に歯止めをかけるためにも、特に第一次産業の分野で農林漁業に従事する人を増やしていく必要がある。今後、従事者を増やしていくための具体的な施策について伺う。

質問

市の受け入れ体制は、定住課に推進員を2名配置し、移住・定住などの相談に対応している。住居確保では、新築、中古住宅の購入経費の一部助成の「定住奨励事業」、UIターン者には、空き家バンク家屋

答弁

市は受け入れ体制は、定住課に推進員を2名配置し、移住・定住などの相談に対応している。住居確保では、新築、中古住宅の購入経費の一部助成の「定住奨励事業」、UIターン者には、空き家バンク家屋

農業支援では、担い手支援センターを設置し、営農従事者支援をはじめ、農産品の積極的な開発・販売力強化、また、新規就農者へは相談会を市内外で実施しており、今後はコロナ禍の中、PVを作成しユーチューブや銀テレなどで魅力を発信していく。林業支援では、適摩高での授業開催、水産業支援では、初期投資の経費支援など従事者の確保、育成に向け努めていく。



亀谷議員その他の質問項目

- ・ 介護保険料について
- ・ 核兵器禁止条約について

問う

大田市の
災害弱者に
対する対策は

避難ルートを確保するなど
引き続き対策に努める

み だ に た け し
三 谷 健 議員



開設訓練を開催、避難所運営における各担当のマニュアルを作成し、10月には県と合同で感染予防に配慮した訓練を実施した。なお、運営マニュアルは、必要に応じて修正する。今後も起こり得る災害を想定し、訓練等を実施する。

要支援者の対策であるが、水防・土砂災害防止法で避難計画の作成が義務付けられた施設では、確保計画を作成し、市に報告することとなっている。また、在宅の要支援者については、避難する際の支援者、避難ルートなど、個別計画の策定について、現在、国において法改正を進めている。今後、この動向に注意をしながら進めたい。

質問 近年、自然災害の増加により、災害弱者と呼ばれる災害時に支援が必要な高齢者、障がい者等の被災が顕著になっている。大田市の避難所環境の整備、運営マニュアルの策定及び避難訓練の状況と高齢者施設における避難対策、加えて、在宅の要支援者のための避難計画、災害対策基本法の「個別計画」作成の進捗状況を聞く。

答弁 避難所環境の整備に関して、市内9か所の福祉避難所を指定しているほか、民間の介護事業所とも協定を締結している。

次に避難所運営マニュアルの策定と訓練について、本年7月、8月に感染予防に対応した避難所、福祉避難所



問う

今後の地域経済
産業構築に向けた
具体的施策

企業進出は
積極的に取り組みたい

わ だ こう し
和 田 浩 司 議員



の企業進出を検討するときは積極的に取り組んでいく。

波根地区工業団地がほぼ売却されたことで、島根県との共同で新たな工業用地整備、候補地選定の作業を進めている。

質問 人口減少と地域経済の収縮化は、町の継続性に危機感をもたらしめている。それに対応するための中長期的な経済対策として、新たな企業誘致についての具体的な展望と、地方創生推進事業を構築する中で、国からの交付金利用と共に、企業版ふるさと納税や人材の流動化を図る国の制度の活用を組み合わせ、大田市に“人と金”の流れを創り出すことが重要と考えるが、所見を伺う。

答弁 これまで順調に誘致活動を進めてきたところだが、今年に入り新型コロナウイルス感染症の影響で、特にIT関連企業は地方進出に慎重になっている。都会地の企業が当市で

民間企業と協働の公共政策については、これまで学校給食センターや市立病院の建設の際に、PFI導入の検討をしたが、企業の経営メリットが小さいことなど判断した。

インパウト投資は、限りある歳入を効果的に活用するため有効であると考える。制度の詳細について調査し、その活用を検討していく。



▲リゾート・オフィス (イメージ)

常任委員会視察報告

総務教育委員会

日時：令和2年11月13日

視察場所

- 旧温泉津小学校
- 旧井田小学校
- 旧大代小学校
- 旧富山小学校
- 学校給食センター
- 山村留学センター
- 日本遺産（2か所）

総務教育委員長

胡摩田弘孝

市内の遊休施設の利活用の状況、所管する施設（日本遺産登録になった2か所）について視察を行った。

市の抱える施設の多くは老朽化し、維持管理費の増加に加え、将来的には大規模改修や建て替えをすれば多額な経費が必要となる。今後、高齢化・人口減少の中、財政規模に則した公共施設の有効利用や計画的な施設整備、廃止・解体、運営方法の見直し等が急がれることから、管財課を中心に施設の一定の方向性について議論すべきであるとの認識に至る良い視察となった。

日本遺産については、これからPRや施設整備を進めていくことになる

が、国からの予算も限られているため、地元のご理解・ご協力を頂きながら効率的な事業につながるよう、検討していただきたい。



▲旧大代小学校

産業建設委員会

日時：令和2年11月2日

視察場所

- 日本遺産（5か所）

産業建設委員長

森山明弘

産業建設委員会では、三瓶自然館サヒメルの中村唯史学芸員の解説で、令和2年6月19日に日本遺産に認定された、「石見の火山が伝える悠久の歴史」の構成資産を視察した。

民生委員会

日時：令和2年11月6日

視察場所

- 邑智クリーンセンター（川本町）

民生委員長

森山幸太

民生委員会では、邑智郡総合事務組合・新可燃ごみ共同処理施設建設工事現場の視察を行った。三機工業現場会議室にて、施設整備状況報告があり、①川本町道拡幅工事の完了について②新可燃ごみ共同処理施設建設工事についての説明を受けた後に、施設建設地と道路整備工区の現地視察をした。川本町道拡幅工事は完了し、整備されていた。建設工事

現場の状況は、敷地造成着手に続いて地盤改良施工（工場棟、柱状改良杭451本）・掘削工事が施工中であった。工事進捗率は、10月末時点で19%、今年度未予定は46%となっている。令和4年度運用開始に向け、着々と工事が進んでいる状況であった。



▲現場会議室にて

22ある資産のうち、5資産を視察。初めに、福光石の石切場、続いて鬼村の鬼岩、昼食後、さんべ縄文の森ミュージアム（三瓶小豆原埋没林公園）を視察した。また、途中で、バスの車窓からではあったが、大国の龍巖山、松代鉱山の霞石産地の解説を受けた。

鬼村の鬼岩は、地元住民の方々が東屋や駐車場を整備され、保存に熱心に取り組んでおられることに大変感銘を受けた。また、さんべ縄文の森ミュージアムでは、日本でも珍しい火山が閉じ込めた奇跡の森、埋没林の魅力をもっと発信していく必要性を感じたところである。

い火山が閉じ込めた奇跡の森、埋没林の魅力をもっと発信していく必要性を感じたところである。



▲福光石の石切場

行財政改革特別委員長 中間報告



11月11日、特別委員会を開催。

第4次大田市行財政改革推進大綱実施計画の進捗状況

問 「共創のまちづくり」について話し合う場を作るべきではないか。

答 今年度から小さな団体との意見交換をすることを計画しているのですが、このような機会に、市民の声を聞かせていただきたい。

問 組織、定員の適正化と総人件費の抑制について。

答 業務の進め方等、やり方を考えていく中で削減に努めたい。

問 スマートフォン決済アプリを利用して市税等の納付ができる、スマホ決済を導入するべきではないか。

答 年度内に導入することを決定し、準備を進めている。

問 ふるさと寄附の推進について、クラウドファンディングの実施は自主財源の乏しい大田市にとって有効な手段であるが、取り組みは。

答 クラウドファンディングは今年度実施していないが、用途を決めてふるさと寄附を実施し、クラウドファンディング的にふるさと寄附のメニューを増やしている。

中期財政運営方針の策定について

問 財政収支見通しの試算について、決算で毎年不用額が出ている。当初予算を標準規模に戻す努力をしてはどうか。

答 事業ごとの最大執行見込み額を反映したものを計上しており、不用額は入札減や、節減努力によりある程度生じる。不用額が過度にならないよう、やっていく必要がある。

公共施設適正化計画の進捗状況

問 今後の重点項目で、組織体制を構築するとあるが、どのような組織なのか。

答 市長を中心とした推進本部である。骨格の部分は担当課と話をしていきたい。

問 合併後10年が過ぎ、公共施設が公平に配置されているか、まちづくりのあり方や公共施設のあり方にメスを入れる時期に来ているのでは。

答 社会情勢の変化、インフラの老朽化、維持管理費をどうするかなど、検討をしていく必要がある。

議会改革特別委員長 中間報告



10月15日、特別委員会を開催。まず、前日の新聞記事に特別委員会について掲載があったため、その件について審議を行った後、「市議会に対する市民の意識調査」について、発送作業を行い、翌日発送。対象は無作為に抽出した18歳以上の男女2000名。回答期限は10月31日とした。

また、10月20、21日には各団体より参考人の方に出席いただき、意見聴取を行った。事前に意見を聞き、まとめていただいた団体が多く、大変お世話になり感謝している。

11月9日、特別委員会を開催。参考人の方々の意見のまとめを一つずつ確認した。

12月4日、特別委員会を開催。参考人の意見を定数・報酬・議会に対する意見とわかるよう再度整理し、その内容を確認した。また、アンケートの結果についても、前回との比較も入れ、整理した表を確認した。

12月11日、これまでの内容を議員

全員に説明し、定数等に関する意見調査票の記入について議員各位へ12月18日締め切りでお願いした。今後については、年明けから特別委員会を開催し、すべての集計作業を行う。また、議会についてもっとよく理解していただく意味から、議会報告会などの開催方法や、広報の充実も含め、議会改革への方針を取りまとめしていく。



▲参考人意見聴取の様子

「大田市議会に対する市民の意識調査」

アンケート集計結果

調査概要

【調査地域】大田市全域
 【調査対象】市内在住の満18歳以上の男女
 【調査対象者数】2,000人(無作為抽出)
 【回答者数】925人
 【調査方法】郵送によるアンケート調査
 【調査期間】令和2年10月17日(土)～
 10月31日(土)



今回のアンケート調査に回答いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。いただいたご意見を参考に、市民の皆様の期待にこたえた議会改革を進めてまいりたいと考えています。

回答者(925件)の内訳

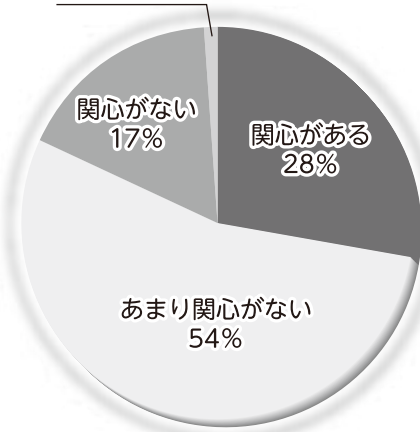
性別	件数
男性	426
女性	493
無回答	6

年代	件数
20歳代以下	88
30歳代	107
40歳代	120
50歳代	157
60歳代	173
70歳代	176
80歳代以上	99
無回答	5



Q1 大田市議会に関心がありますか？

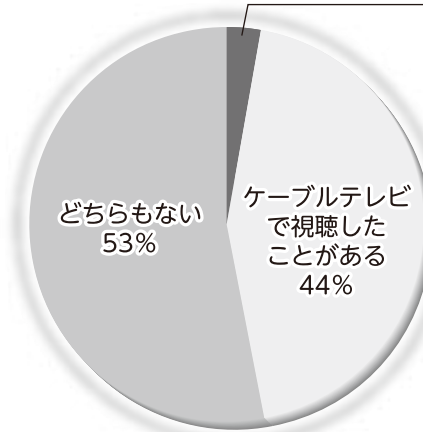
無回答 1%



定例会は年に4回、必要に応じて臨時会が開催されます。その他、各種委員会などで様々な案件の審議が行われています。

Q2 大田市議会の会議を視聴したことがありますか？

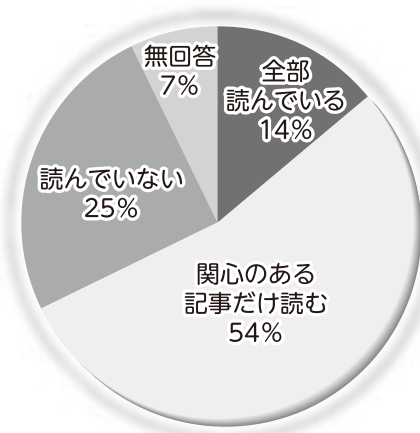
傍聴したことがある 3%



ぜひ一度傍聴にお越し下さい。厳粛な雰囲気できり上げられるやりとりをご覧くださいいただけます。

Q3 市議会だよりを読んでいますか？

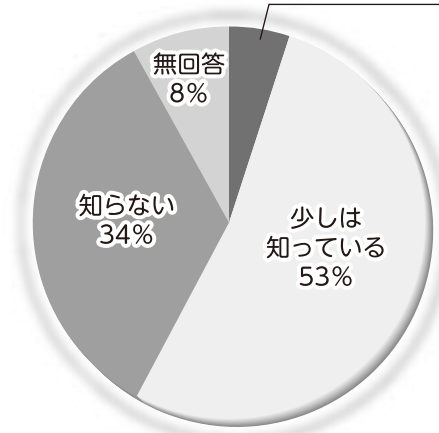
無回答 7%



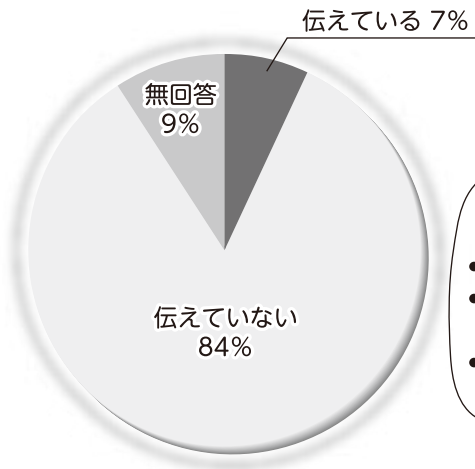
市議会だよりは、年4回全戸配布しています。定例会の翌月にタイムリーに発行しています。

Q4 市議会議員の活動内容を知っていますか？

知っている 5%



Q5 市議会議員に自分の意見や要望を伝えていますか。



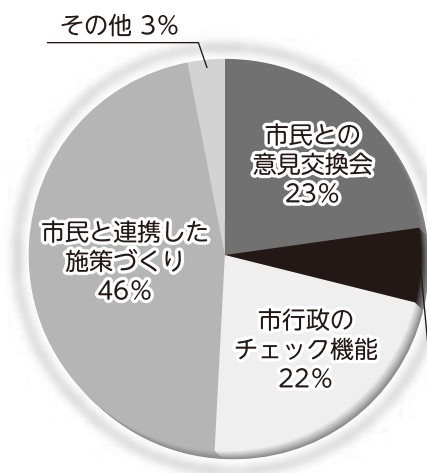
「伝えていない」人の主な理由

- 伝える手段がわからない
- 伝える意見や要望が特にならない
- 議員に意見・要望しても実現しない

Q6 市議会議員の仕事に魅力を感じますか？



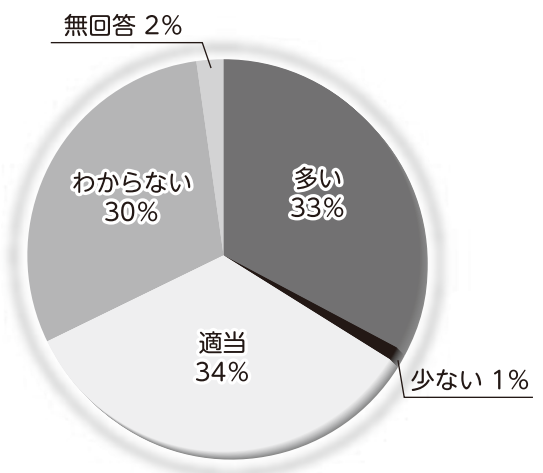
Q7 今後の大田市議会に期待することは何ですか？



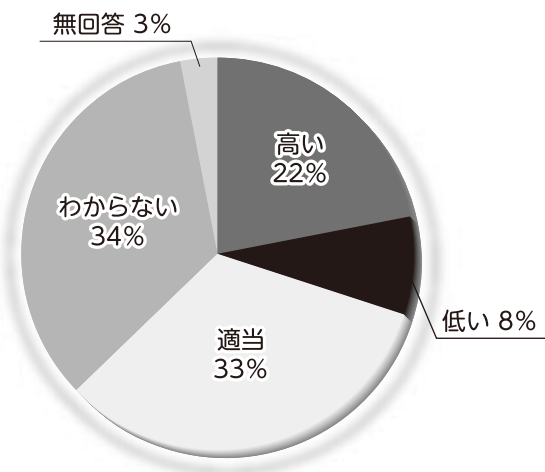
市民の皆様と情報や意見を交換する場として、議会報告会を開催しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、中止になりました。

議会による議会報告会 6%

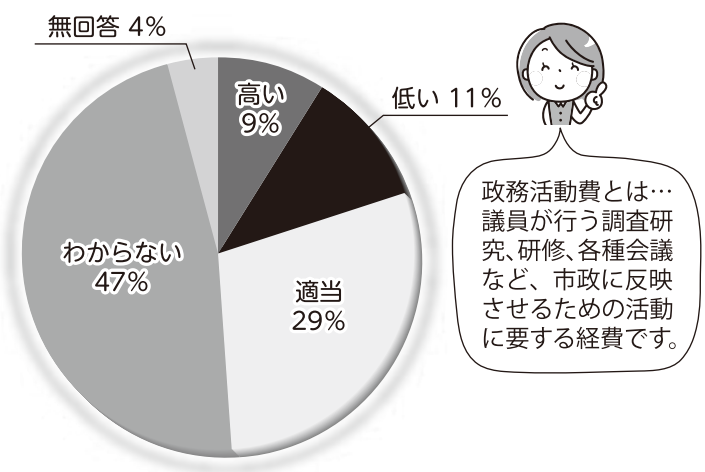
Q8 大田市議会議員の定数は20人ですが、人数についてどう感じますか？



Q9 大田市議会議員の報酬が月額31万円であることについてどう感じますか？



Q10 大田市議会議員の一人当たりの政務活動費は年額12万円ですが、その額についてどう感じますか？



傍聴案内

大田高校1年生24名が市議会を見学

大田高校1年生24名が12月定例会の一般質問を見学。真剣な眼差しで聴き入る姿が傍聴席にありました。後日、生徒の皆様より「厳粛な雰囲気、圧倒されました。」「行く前より議会について興味深くなりました。」「大田市の魅力について改めて考えさせられました。」など、たくさんの感想をいただきました。

一般傍聴のほか、こうした授業の一環として見学していただくのも大歓迎です。特に一般質問では、地域に密着したテーマで議論が行われますので興味深く傍聴していただけます。団体でお越しの際は、事前に議会事務局にご連絡ください。(新型コロナウイルス対策で、現在傍聴席は34席です。)

お問い合わせ先 大田市議会事務局
(TEL:0854-83-8137)



写真で見る議会日誌

10/18 島根県総合防災訓練(議長ほか)



10/22 島根県市議会議長会議員研修会(全議員)

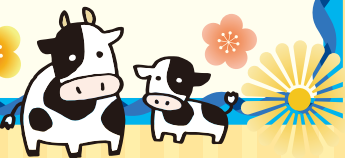


「今の時代における地方議会・議員の役割」をテーマにリモートにて開催されました。

11/21 大田市笠岡市友好都市縁組締結30周年記念式典(議長)



土江子ども神楽団による石見神楽が披露されました。



広報広聴委員

委員長 小月 和弘
副委員長 塩谷 裕志
委員 大西 修治
委員 河村 賢治
委員 石田 洋治
委員 胡麻田 弘孝
委員 三谷 健子
委員 亀谷 優子

令和2年は、あつと言つ間に通り過ぎ、一年が早く感じたのは私だけでしょか。市議会も4月以降、臨時会も併せ10回開催、慌ただしい年でした。いま次年度予算編成に併せて行政改革・議会改革の両特別委員会で高齢化と人口減少に対する社会対応に向け議論を進めている最中。昨秋には、市民から議会のあり方についてのご意見をお聴きしたところであり、改革を図る中、むやみに社会の縮小に併せるのではなく、原点に立ち戻り責務・役割など重要性を感じたところがあります。昨年からのコロナ禍、感染の終息はもとより、中傷、偏見、差別など人間に対する挑戦であり、必ず克服できるものと確信、いましばらく頑張りますよ。

広報広聴委員会も2年ぶりの復帰、情報発信の重要性を噛み締め、読み易い広報づくり、原稿づくりにみんなが疾走しています。今後とも、ご愛読いただければ幸いです。(ひろし)

編集後記

株式会社印刷